

報道関係者 各位

2009年6月22日
 国立新美術館
 日本科学未来館

—お知らせ—

国立新美術館×日本科学未来館
 アート×サイエンス クロストーク vol.1

『野村仁 変化する相一時・場・身体』×『‘おいしく、食べる’の科学展』

国立新美術館では、5月27日(水)～7月27日(月)まで、『野村仁 変化する相一時・場・身体』を開催中です。野村仁は、1960年代末から、いち早く写真を使った美術表現に取り組み、「重力」や「時間」を眼に見えるかたちで示す作品で注目を集めました。物の変化を観察するなかで、「物が今ここに在るとはいかなることか」や、「物や時間によって成り立っているこの世界とは何なのか」に関心を持ち、やがてその眼差しの対象を、地上の現象から、空や宇宙、DNAへと広げ、深めていった作家です。

本イベントは、様々な色の発光ダイオードを植物に当てる作品、《植物を育む言語又は‘反照している’を見る》をめぐり、国立新美術館 展覧会担当研究員 平井章一と、日本科学未来館 科学コミュニケーター 森田由子が、美術と科学、双方の観点から語り合うという初めての企画です。発光ダイオードによる植物の生育や、語りかける言語(LEDの色彩)の違いによる成長展開の差などを分かりやすく検証します。

11月21日(土)～2010年3月22日(月)まで未来館にて開催される企画展『‘おいしく、食べる’の科学展』にもリンクする内容になっており、アート好きの方も、科学好きの方も楽しみいただけるイベントとなっております。農林水産省がLEDによる各農産物生育の効果を研究するプロジェクトを立ち上げた本年、作品内容も合わせて、更に理解を深めていただく機会になれば幸いです。

イベント概要

日 時 : 7月10日(金)18:00～19:00
 場 所 : 国立新美術館 3階 研修室 A・Bにて
 定 員 : 60名
 対 象 者 : 一般向け
 参加方法: 予約不要(直接会場へお越し下さい)
 参加費 : 無料
 ※本件は、国立新美術館と日本科学未来館双方より
 配信しております。



《植物を育む言語又は‘反照している’を見る》展示風景

一般からのお問い合わせ先	このリリースに関するお問い合わせ先
国立新美術館 Tel: 03-6812-9900 Fax: 03-3405-2532 URL: http://www.nact.jp/	国立新美術館 広報担当 (pr@nact.jp) 106-8558 東京都港区六本木 7-22-2 Tel: 03-6812-9925(広報直通) Fax: 03-3405-2532

展覧会概要

国立新美術館

『野村仁 変化する相一時・場・身体』（開催中）

会 期:5月27日(水)～7月27日(月)

開催時間:10:00～18:00 ※金曜日は20:00まで(入館は閉館時間の30分前まで)

場 所:国立新美術館 企画展示室 2E

主 催:国立新美術館

休 館 日:毎週火曜日

観 覧 料:一般 1,000円 大学生 500円

※ 高校生、または18歳未満の方、および障害者手帳をご持参の方(付添の方1名を含む)は無料



プレスリリース、展覧会広報用画像をご用意しております。ご希望の場合は、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

国立新美術館 広報担当

Tel: 03-6812-9925(広報直通) Fax: 03-3405-2532

E-mail: pr@nact.jp

右:野村仁《Cosmo-Arbor '06》1999-2006年

左:野村仁《正午のアナレンマ '90》1990年 和歌山県立近代美術館蔵

日本科学未来館

企画展『‘おいしく、食べる’の科学展』

会 期:11月21日(土)～2010年3月22日(月・祝)

開催時間:10:00～17:00(入館は閉館時間の30分前まで)

場 所:日本科学未来館 1階企画展示ゾーン a

主 催:日本科学未来館、(財)科学技術広報財団、読売新聞社

休 館 日:毎週火曜日(春・夏・冬休み期間は開館)、12/28-1/1(ただし、1/5は開館)

観 覧 料:一般 1,000円 18歳以下 500円

※ 常設展示見学可

※ 障害者手帳保持者は本人および付き添い者1名まで無料



日本科学未来館

〒135-0064 東京都江東区青海 2-41

Tel :03-3570-9151 Fax :03-3570-9150

URL :<http://www.miraikan.jst.go.jp/>